

環境経営レポート



2023年度版
(2023年6月～2024年5月)

第12版 作成日：2024年8月1日

岳陽産業有限公司



目 次

1. 組織の概要
2. 環境経営方針
3. 環境経営目標
4. 環境経営目標に対する実績
5. 環境経営目標の取組結果及び次年度の取組内容
6. 問題点の是正処置及び予防処置の結果
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体の評価と見直し、指示

1. 組 織 の 概 要

(1) 基本情報

事業所名	岳陽産業有限会社
代表者	代表取締役 望月 茂
所在地	本社 〒416-0939 静岡県富士市川成島156番地の2号 駐車所 〒416-0933 静岡県富士市中丸229番地の1号 中間処理施設 〒417-0002 静岡県富士市依田橋字江堀305番2
環境管理責任者及び 担当者連絡先	環境管理責任者 鈴木 美穂 TEL：0545-61-1403(代) FAX：0545-61-1578 E-meil：gakuyou@ai.tnc.ne.jp
事業内容	・一般及び産業廃棄物収集運搬業 ・特別管理産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物中間処分業(破碎) ・再生資源回収業 ・清掃業
事業規模	従業員数：16名(2024年7月現在) 延べ床面積：本社 396㎡、駐車場1,187㎡、中間処理施設 1,015㎡
資本金	1,000万円
売上高	156百万円
対象範囲	対象活動：一般及び産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物中間処分業(破碎)、再生資源回収業、清掃業 対象組織：本社、駐車場、中間処理施設 (全組織・全活動)
HP	https://gakuyou.net

(2) 沿革

1962年	7月	法人設立
1989年	2月	静岡県産業廃棄物収集運搬業許可取得
1993年	3月	富士市一般廃棄物収集運搬業許可取得
2000年	5月	富士宮市一般廃棄物収集運搬業許可取得
2006年	4月	静岡市(清水区)一般廃棄物収集運搬業許可取得
2006年	7月	電子マニフェストシステム登録(収集運搬業)
2007年	7月	小山町一般廃棄物収集運搬業許可取得
2010年	9月	一般貨物運送事業参入
2011年	4月	静岡県トラック協会加入
2012年	5月	エコアクション21認証・登録
2015年	12月	静岡県特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得
2016年	11月	静岡県産業廃棄物処分業許可取得
2016年	11月	電子マニフェストシステム登録(処分業)
2021年	11月	静岡県産業廃棄物処分業優良認定
2022年	7月	静岡県産業廃棄物収集運搬業優良認定
2024年	4月	神奈川県産業廃棄物収集運搬業許可取得

(3) 許可の内容

一般廃棄物処理業許可一覧

許可地域	許可番号	許可年月日	許可有効期限
富士市	富士市許可第1-1-05号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
富士宮市	富生許第14号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
静岡市	静岡市第10059号	令和6年4月1日	令和8年3月31日
小山町	小くく許可第13号	令和6年4月1日	令和8年3月31日

産業廃棄物収集運搬処理業

許可地域	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業の範囲	産業廃棄物の種類										特別管理	
					廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	がれき類	汚泥	廃油	紙くず	木くず	繊維くず	ばいじん	感染性廃棄物	引火性廃油
(優良) 静岡県	第02201047803号	令和4年7月3日	令和11年7月2日	収集運搬	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
静岡県	第02251047803号	令和2年12月3日	令和7年12月2日	収集運搬											●	●
神奈川県	第01400047803号	令和6年4月25日	令和11年4月24日	収集運搬	●	●	●	●			●	●	●			

産業廃棄物処分類

許可地域	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業の範囲	産業廃棄物の種類						
				中間処理	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず
(優良) 静岡県	第2221047802号	令和3年11月10日	令和10年11月9日	破碎	●	●	●	●	●	●	●

(4) 処理実績

	2021年度	2022年度	2023年度
産業廃棄物収集運搬量	1,935 t	2,493 t	2,329 t
特別管理産業廃棄物収集運搬量	20 kg	20 kg	80 kg
産業廃棄物中間処分量	152 t	185 t	176 t
事業系一般廃棄物収集運搬量	561 t	559 t	529 t
家庭系一般廃棄物収集運搬量 (富士市より受託分)	2,205 t	2,422 t	2,673 t

(5) 保有施設の概要

収集運搬車両 (内、営業ナンバー車 5台)

塵芥車	9 台
脱着装置付コンテナ専用車	2 台
脱着装置付コンテナ専用車 (大型)	2 台
キャブオーバ	2 台
バン	1 台
ワゴン車	1 台
合計	17 台



処理施設

破砕機	1 基
-----	-----

施設の種類、産業廃棄物の種類及び処理能力

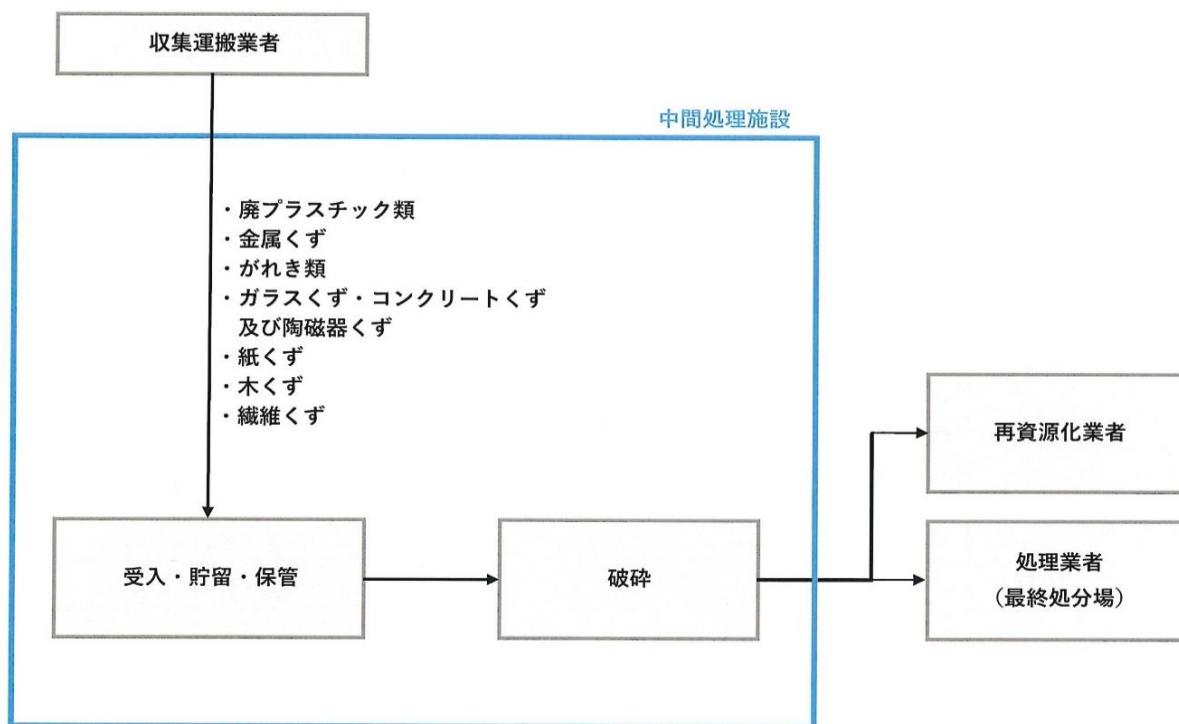
施設の種類	破砕施設
-------	------



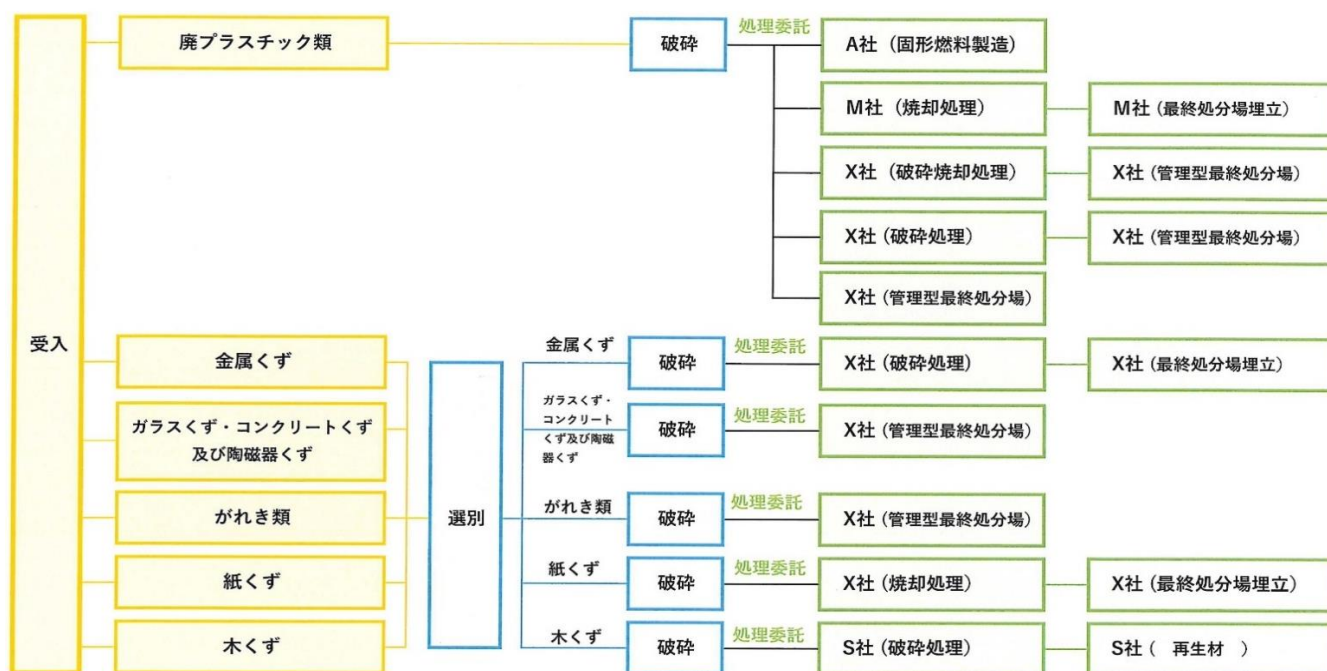
産業廃棄物の種類	処理能力	産業廃棄物の種類	処理能力
廃プラスチック類	2.88 t / 日(8時間)	紙くず	1.82 t / 日(8時間)
金属くず	2.65 t / 日(8時間)	木くず	2.50 t / 日(8時間)
がれき類	4.32 t / 日(8時間)	繊維くず	2.43 t / 日(8時間)
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	3.15 t / 日(8時間)		

(6) 産業廃棄物中間処理方式／処理工程図

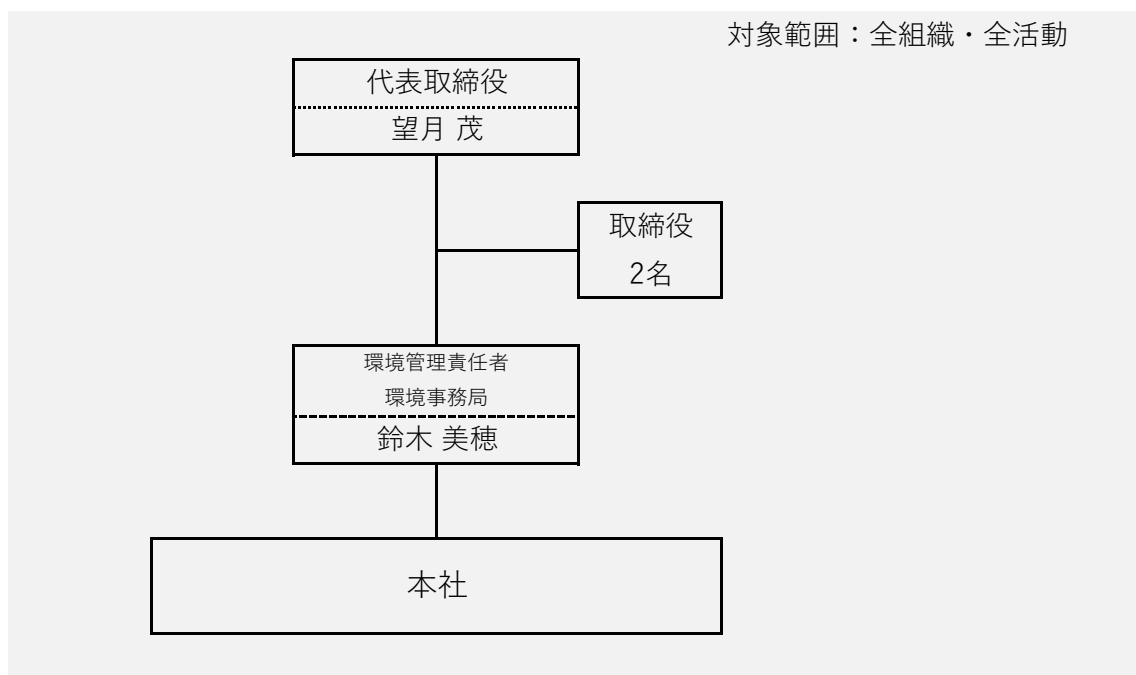
中間処理施設（静岡県富士市依田橋）



産業廃棄物の一連の処理の工程



(7) 実施体制



担当	役割・責任・権限
代表取締役	1.経営における課題とチャンスをつまえて、環境経営方針を定める 2.環境経営システム全般に対する責任と権限 3.環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用を用意する 4.環境管理責任者の任命を行う 5.環境経営システムの見直し・指示
環境管理責任者	1.環境経営全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する 2.環境経営システムの実施状況実績を代表取締役へ報告 3.環境経営システムの構築、実施及び運用管理 4.環境事務局の文書作成に対するチェック及び改訂の指示
環境事務局	1.文書、記録の管理 ・環境経営目標及び環境経営計画案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・取組に必要な場合の手順書案 ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の想定 ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 2.環境経営レポートの作成
部門責任者	1.各部門における環境マネジメントの実施 2.各記録の実施 3.問題点のチェック及び予備処置の実施 4.緊急事態の試行及び訓練の実施
全従業員	1.環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 2.自主的、積極的に環境活動への参加

(8) SDGsの活動について

弊社の所在地の静岡県富士市は、令和2年7月17日にSDGs未来都市に選定されました。
 岳陽産業有限会社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



地域活動の一環として、今年で4年目になる富士市立田子浦幼稚園で「リサイクル講座」を開催しました。

「集めたゴミはどうなるんだろう」「リサイクルされて何になるんだろう」という園児たちの疑問に対して、段ボールやペットボトル、紙ごみなどを例にどのように生まれ変わるのか、図やクイズ形式にして解説しました。



ゴミ収集車に段ボールを積み込む体験をしてもらい、“貴重な体験が出来た”と喜んで頂き弊社も同様、とても勉強になる時間でした。来年度もおこなう予定です。

2. 環 境 経 営 方 針

(1) 基本理念

岳陽産業有限会社は事業活動を通じ、廃棄物の分別資源化に取り組み、
環境負荷の低減を図り、次世代へ繋がる環境保全活動の継続的な改善を推進をします

(2) 行動指針

1. 環境活動を展開し、二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・総排水量の削減

- ①収集運搬車両のエコドライブを実践し、省エネと排気ガスの抑制に取り組みます
- ②事務所の節電を行い、二酸化炭素の排出を削減します
- ③上水道の使用量削減に取り組みます
- ④廃棄物の分別の徹底による再資源化、リサイクル率の向上に努めます

2. 環境関連法規等の遵守

当社業務に適用される環境関連法規等を遵守します

3. 環境に配慮した物品の調達と地域社会貢献推進

- ①グリーン購入の推進に取り組みます
- ②廃棄物排出事業者、住民に対して分別排出の指導・支援に努めます
- ③地域奉仕活動等に積極的に参加します

4. 電子マニフェストの導入後の活用、継続、維持

5. 環境コミュニケーションの積極的实施

社外においては環境経営レポートを公開し、
利害関係者とより良いコミュニケーションを実践します

2011年8月1日制定

2020年6月1日改定

岳陽産業有限会社
代表取締役 望月 茂



3. 環境経営目標

(1) 中長期環境経営目標

項目			単位	基準年度	目標年度		
				2020年度	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量の削減			kg-CO ₂	138,343	-2%	-3%	-4%
電力使用量の削減	本社		kWh	12,391	-2%	-3%	-4%
	中間処理施設		kWh	923	-2%	-3%	-4%
軽油消費量の削減			ℓ	48,402	-2%	-3%	-4%
ガソリン消費量の削減			ℓ	1,893	-2%	-3%	-4%
灯油消費量の削減			ℓ	274	-2%	-3%	-4%
液化石油ガス使用量の削減			kg	12	-2%	-3%	-4%
廃棄物使用量の削減			t	分別活動	分別活動	分別活動	分別活動
水使用量の削減			m ³	301	-2%	-3%	-4%
収集運搬1 t あたりの燃料(軽油及びガソリン)			ℓ / t	9.5	-2%	-3%	-4%
再生資源の回収			t	341	+2%	+3%	+4%

※電気使用量のCO₂排出係数は基準年度の(株)ハルエネの調整後の排出係数である0.466(kg-co₂/kWh)を使用した。

※一般廃棄物は少量の為、産業廃棄物は活動状況によって変わり削減婚なので「分別活動」にする。

(2) 本年度環境経営目標

項目			単位	基準年度	本年度	
				2020年度	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量の削減			kg-CO ₂	138,343	-1%	136,960
電力使用量の削減	本社		kWh	12,391	-1%	12,267
	中間処理施設		kWh	923	-1%	914
軽油消費量の削減			ℓ	48,402	-1%	47,918
ガソリン消費量の削減			ℓ	1,893	-1%	1,874
灯油消費量の削減			ℓ	274	-1%	271
液化石油ガス使用量の削減			kg	12	-1%	12
廃棄物使用量の削減			t	分別活動	分別活動	分別活動
水使用量の削減			m ³	301	-1%	298
収集運搬1 t あたりのガソリン軽油量			ℓ / t	9.5	-1%	9.4
再生資源の回収			t	341	+1%	375

※電気使用量のCO₂排出係数は基準年度の(株)ハルエネの調整後の排出係数である0.466(kg-co₂/kWh)を使用した。

※一般廃棄物は少量の為、産業廃棄物は活動状況によって変わり削減婚なので「分別活動」にする。

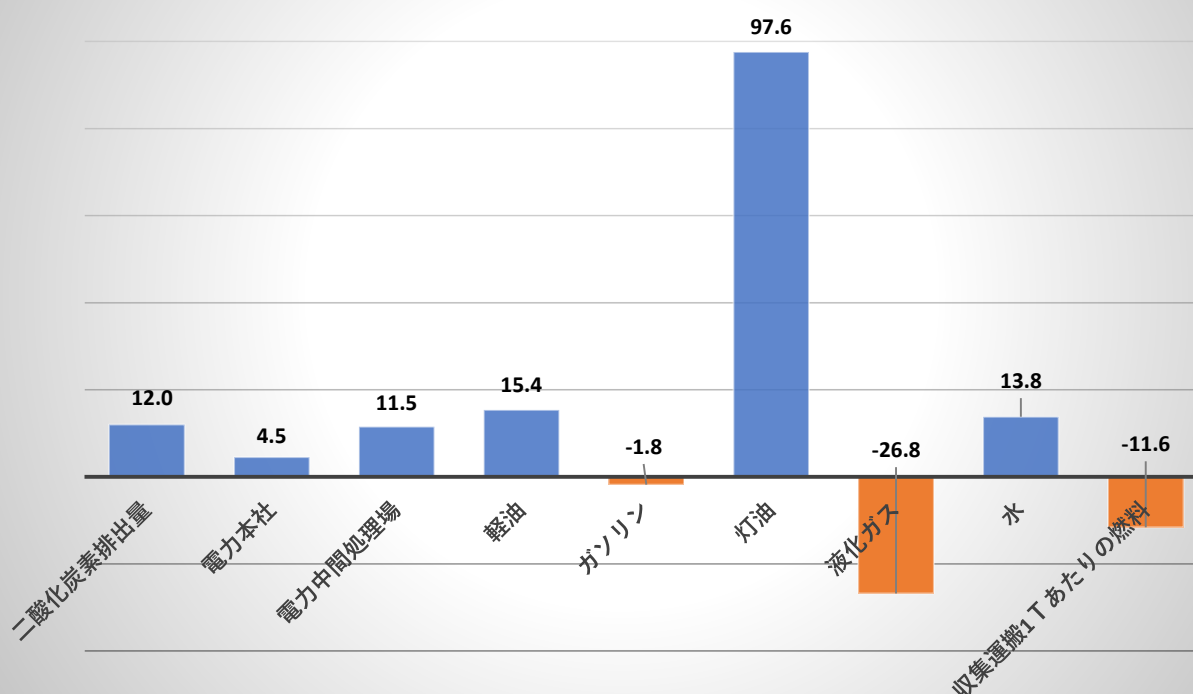
4. 環境経営目標に対する実績

項目		単位	目標値	本年度 実績値	実績削減率	評価	
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	136,960	154,312	12.7	×	
電力使用量の削減	本社	kWh	12,267	12,822	4.5	×	
	中間処理施設	kWh	914	1,019	11.5	×	
	軽油消費量の削減		ℓ	47,918	55,275	15.4	×
	ガソリン消費量の削減		ℓ	1,874	1,841	-1.8	○
	灯油消費量の削減		ℓ	271	536	97.6	×
	液化石油ガス使用量の削減		kg	11.9	9	-26.8	○
廃棄物使用量の削減		t	分別活動	分別活動	分別活動	○	
水使用量の削減		m ³	298	339	13.8	×	
収集運搬1 t あたりのガソリン軽油量		ℓ / t	9.4	8.3	-11.6	○	
再生資源の回収		t	337.9	1,356	301.3	○	

※電気使用量のCO₂排出係数は基準年度の(株)ハルエネの調整後の排出係数である0.466(kg-co₂/kWh)を使用した。

※一般廃棄物は少量の為、産業廃棄物は活動状況によって変わり削減婚なので「分別活動」にする。

実績削減率 〈%〉



5. 環境経営目標の取組結果及び次年度の取組内容

目的	活動項目	評価		次年度
二酸化炭素の削減	各項目の実績管理	○	実施できた	継続
	エコドライブの実践	○	実施できた	継続
	タイヤの空気圧管理	○	実施できた	継続
	車両設備・点検の実施	○	実施できた	継続
	運転者教育の実施	○	実施できた	継続
電力使用量の削減	毎月の電力使用量の把握	○	実施できた	継続
	節電ポスターの掲示	○	掲示済	継続
	空調の温度管理	○	実施できた	継続
	空調のフィルター定期清掃	○	実施できた	継続
	不要な照明の消灯	○	実施できた	継続
	クールビズ、ウォームビズ推奨	○	実施できた	継続
軽油・ガソリン削減	エコドライブの実践	○	実施できた	継続
	タイヤの空気圧管理	○	実施できた	継続
	車両設備・点検の実施	○	実施できた	継続
	車内清掃	○	実施できた	継続
	収集運搬ルートの見直し	○	実施できた	継続
灯油削減	使用量の把握	○	実施できた	継続
	エアコン使用時は灯油ストーブを控える	○	実施できた	継続
	定期的な換気	○	実施できた	継続
プロパンガス削減	使用量の把握	○	実施できた	継続
	夏場の使用を控える	○	実施できた	継続
節水	節水告知ラベルの貼り付け	○	掲示済	継続
	使用量の把握	○	実施できた	継続
	洗車時の水道にストッパー取り付け	○	取付済	継続
	水漏れ点検の実施	○	実施できた	継続
再資源の回収量の増加 リサイクル率の向上	分別の徹底	○	実施できた	継続
	コピー用紙両面使用	○	実施できた	継続
	封筒の再利用	○	実施できた	継続
	使用済み切手の収集	○	実施できた	継続
	電子マニフェストの導入・維持継続	○	導入済	継続
	詰め替え可能商品の購入	○	実施できた	継続
本来業務の取組 (環境活動)	FAXのPDF化検討	△	検討中	継続
	排出者への分別指導とフォロー	○	実施できた	継続
	富士市民の違反ごみへのラベルの貼付	○	実施できた	継続
	ゴミ回収時の市民への挨拶等の気配り	○	実施できた	継続
	ゴミ集積所の清掃	○	実施できた	継続
	車両へのドライブレコーダー設置	○	設置済	継続
	水銀使用製品(蛍光灯)の処分委託	○	委託契約済	継続
	地域の奉仕活動、ボランティア活動参加	○	実施できた	継続
	リサイクル講座の実施	○	実施できた	継続
	本社、中間処理施設周辺道路清掃	○	実施できた	継続

(1) 二酸化炭素排出量の削減

2023年度の二酸化炭素排出量の削減は、2020年度実績値の1%削減を目標としました。その結果2023年度の排出量は153,357kg-CO₂で2020年度実績値の+12.7%となり、目標達成出来ませんでした。

排出量の内訳を目標値と比較した場合、本社電力使用量は+4.5%、中間処理施設電力使用量は+11.5%、軽油使用量は+15.4%、灯油消費量は97.6%の増加でした。

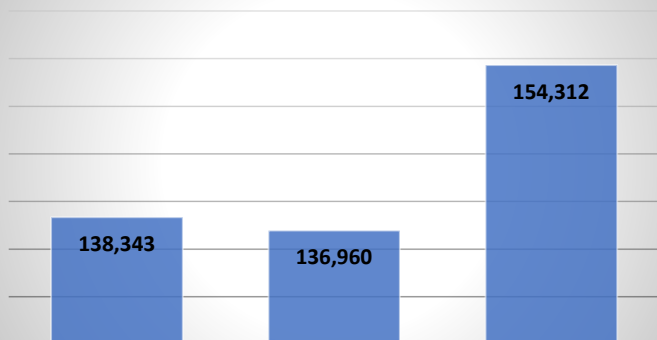
一方、ガソリン使用量-1.8%、液化石油ガス使用量-26.8%、収集運搬量1tあたりのガソリン軽油量-11.6%、再資源の回収も大幅な増加となり、目標達成となりました。

二酸化炭素排出量削減のための取組内容

- ・それぞれの項目の実績管理
- ・エコドライブの実践
- ・タイヤの空気圧などの車両設備点検の実施
- ・運転者教育の実施

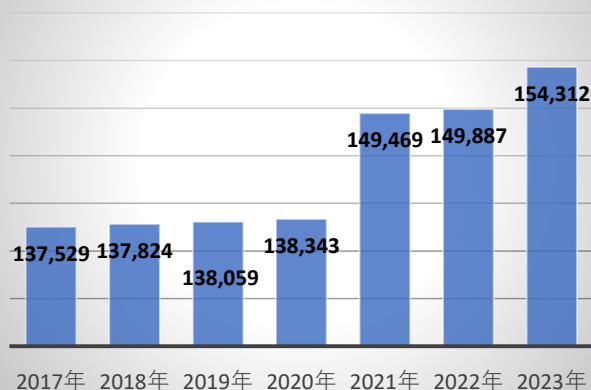


二酸化炭素排出量 〈kg-CO₂〉

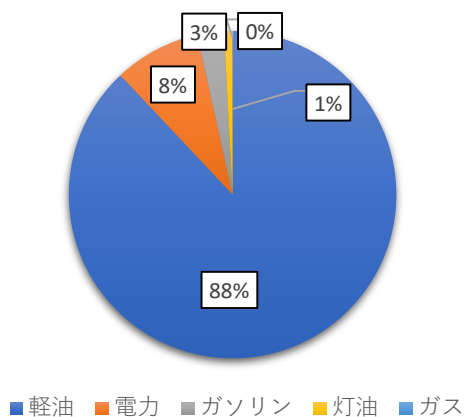


2020年度(基準年度)

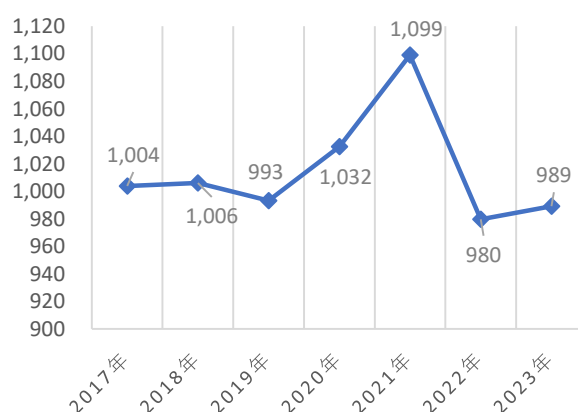
二酸化炭素排出量推移 〈kg-CO₂〉



二酸化炭素排出量割合



原単位推移 〈kg-CO₂/売上(百万円)〉



(2) 電力使用量の削減

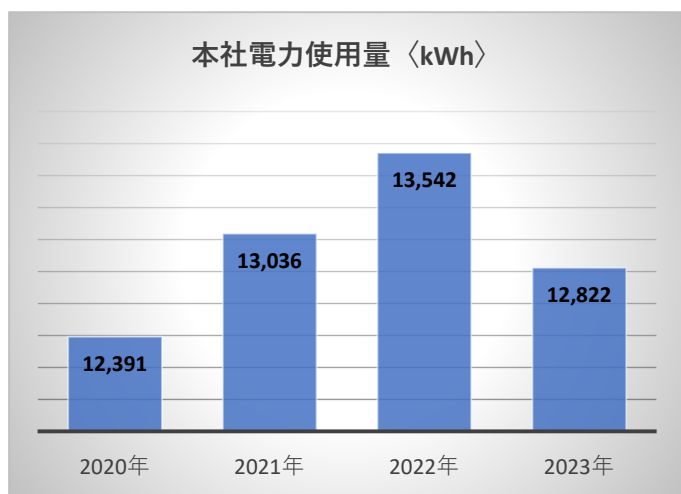
電力使用量削減のための取組内容

- ・ 毎月の電力使用量の把握
- ・ 節電の呼びかけのためのラベルの貼付け
- ・ 空調の温度管理(冷房28度・暖房24度)
- ・ 空調のフィルター定期清掃
- ・ 不要な照明の消灯
- ・ 終業時の換気扇の電源OFF
- ・ クールビズ、ウォームビズ推奨



【本社】

本社電力使用量 〈kWh〉



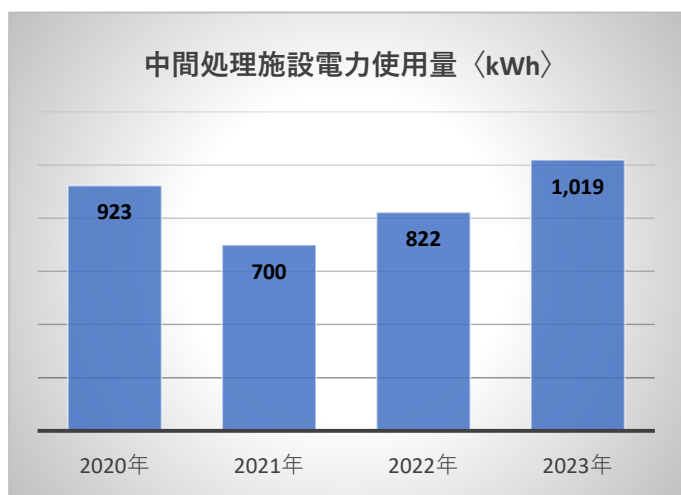
今年度、本社の電気使用量は12,822kWhでした。2020年度の実績値の1%削減を目標値としました。その結果、+4.5%でした。

7月～9月は熱中症対策で常時エアコンや扇風機の稼働や温度の管理が徹底されていなかったのが原因かと思われます。

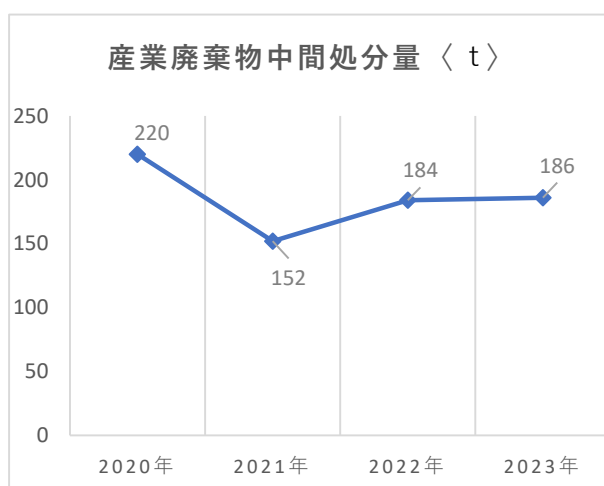
しかし、昨年と比べると約5%の電気使用量の削減をすることが出来ました。

【中間処理施設】

中間処理施設電力使用量 〈kWh〉



産業廃棄物中間処分量 〈t〉



今年度、中間処理施設の電気使用量は1,019kWhでした。目標値は914kWhでしたので、+11.5%で目標達成できませんでした。中間処理施設の電力使用量は、主に破砕機の稼働です。受入れの廃棄物量の傾向と比例しているため、電力使用量の増加は妥当だと考えられます。破砕機の使用時間の見直しや点検の再確認によって、電力使用量削減に繋がるので、次年度以降も破砕機の維持管理と中間処分の受入れ廃棄物の把握に努めてまいります。

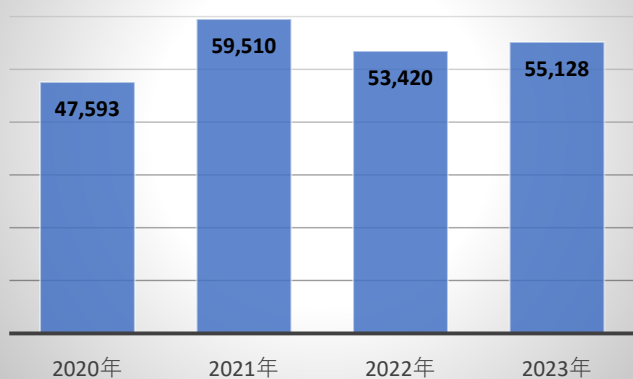
(3) 軽油・ガソリン使用量の削減

軽油・ガソリン使用量削減のための取組内容

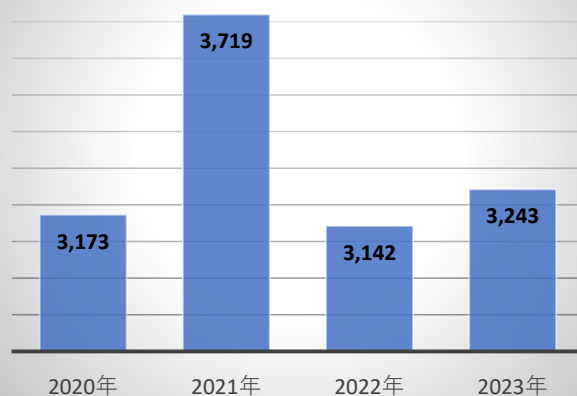
- ・エコドライブの推進
- ・最短ルート、渋滞・工事などの連絡
- ・日常点検・定期点検の徹底
- ・車両の清掃
- ・効率的なルートでの収集するために定期的な見直し



軽油使用量 〈ℓ〉

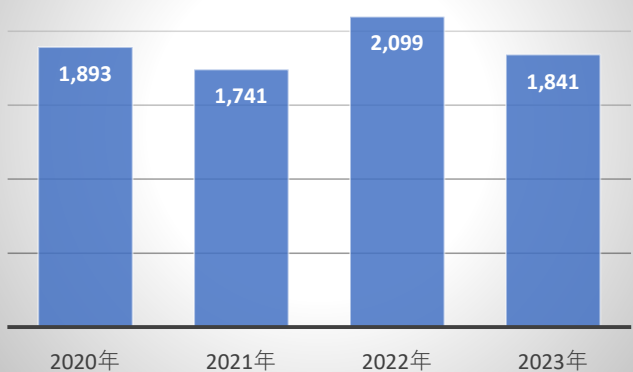


車両1台あたりの平均軽油使用量 〈ℓ〉

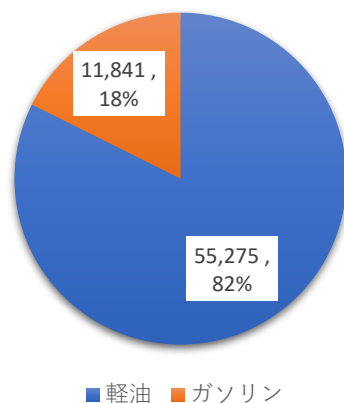


今年度、軽油使用量は55,275 ℓでした。目標値47,918 ℓより15.4%の増加でした。しかし2020年度の車両は15台でしたが、2023年度現在は17台のため1台あたりの平均軽油使用量を比べると+2%増加に抑えることができました。

ガソリン使用量 〈ℓ〉



軽油・ガソリン割合



今年度、ガソリン使用量は1,841 ℓでした。目標値1,874 ℓで1.8%削減することが出来ました。ガソリンの車両は主に一般家庭の片づけ作業や解体前の事業所等の現地確認や見積りなどの作業のための移動に使用しています。軽油に比べると2割弱の使用量ですが、ガソリンの金額も年々上がっているため、効率よく使用していきたいと思っています。

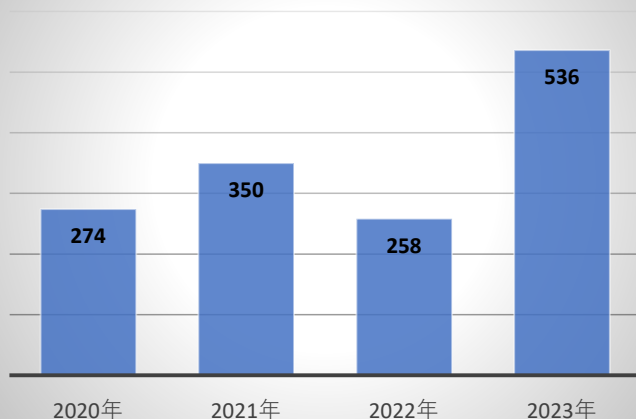
(4) 灯油使用量の削減

灯油使用量削減のための取組内容

- ・使用量を把握すること
- ・エアコンをつけている間にはなるべく灯油のストーブの使用は控える
- ・定期的に換気をし、一旦止める



灯油使用量 〈ℓ〉



今年度、灯油使用量は536ℓでした。

目標値は271ℓでしたので約2倍の量でした。

灯油は11月～2月までの4か月間で購入しました。

使用場所は本社のみですが、従業員休憩所にはエアコンがないため、冬場の暖房器具は灯油ストーブのみとなります。使わないときは消すこと、定期的な換気をおこなうこと、一定時間使用したら一旦止めることに努めていきます。

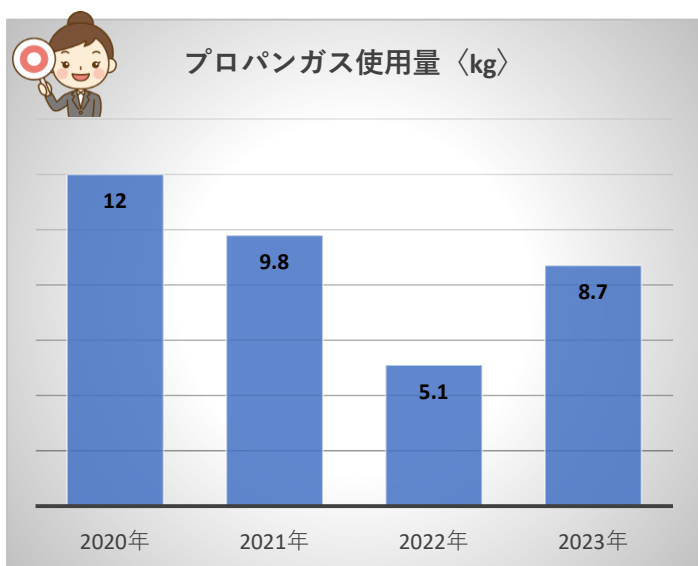
(5) プロパンガス使用量の削減

灯油使用量削減のための取組内容

- ・使用量を把握すること
- ・夏場の使用を控える



プロパンガス使用量 〈kg〉



今年度、プロパンガス使用量は8.7kgでした。

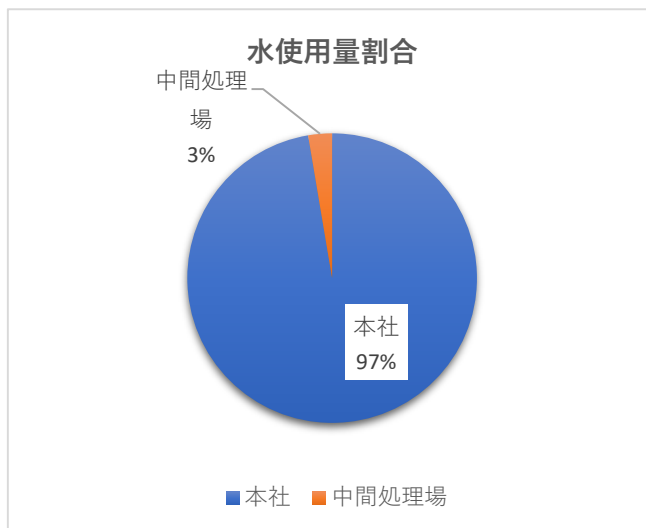
目標値は11.9kgなので26.8%減少することが出来ました。

プロパンガスは主に事務所に給湯室で使用しています。夏場よりも冬場の方が比較的に控えることが出来ると思うので、引き続き節約して使用したいと思います。

(6) 水使用量の削減

水使用量削減のための取組内容

- ・ 節水告知ラベルの貼り付け
- ・ 毎月の使用料の把握
- ・ 洗車用の水道蛇口にストッパーを付ける
- ・ 水漏れの点検



本年度、水使用量は本社330m³・中間処理施設9m³で合わせて339m³でした。

目標値は298m³で13.8%増加となりました。洗車や手袋等の洗濯は本社でおこなっています。

2020年と比べて車両の台数が2台増えているので、洗車時の水使用量も増えているのは把握しています。基本的なことですが、使わない時は出っぱなしにしないことを徹底し、節水を心がけていきます。

(7) 再生資源の回収数量

再生資源の回収数量の増加のための取組内容

- ・ 目標は2020年度より+1%の量
- ・ 分別の徹底



本年度の再生資源の回収量は1,356 t でした。2020年度の後半から数量の把握を始めた為、基準年度は正確な数量ではありません。

缶・金属・段ボール等は作業員の手作業での分別となります。排出者(お客様)にも分別の指導をおこない、再生資源の増加、廃棄物の減少を心がけていきたいと考えております。

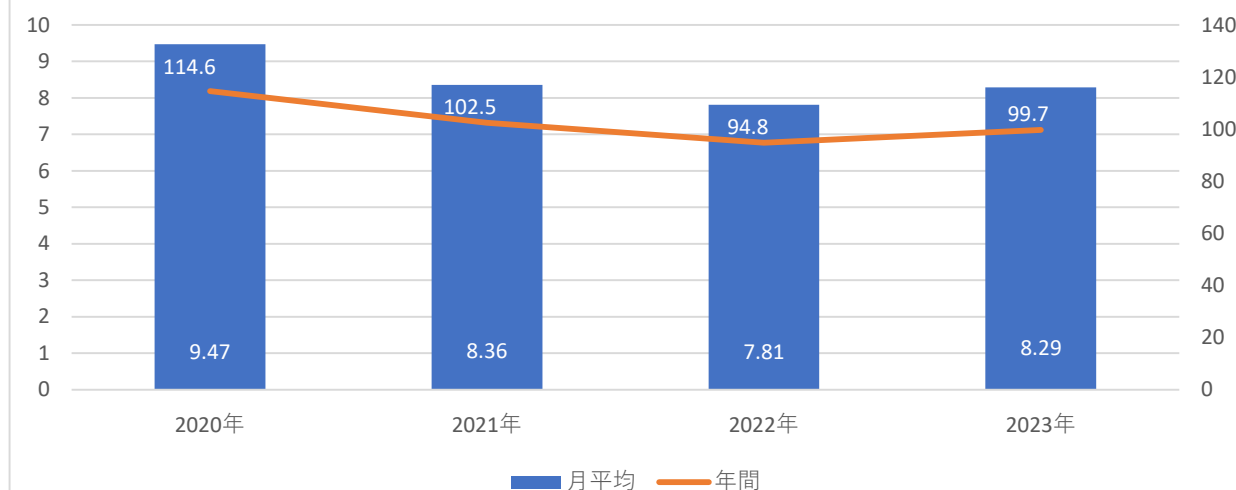
(8) 収集運搬1 t あたりの燃料(軽油量及びガソリン量)

収集運搬1tあたりの燃料の比較について

・年間ごと車両台数・廃棄物の量・収集運搬先などが異なるため基準を設けて比較すると分かりやすいので、調べてみました。



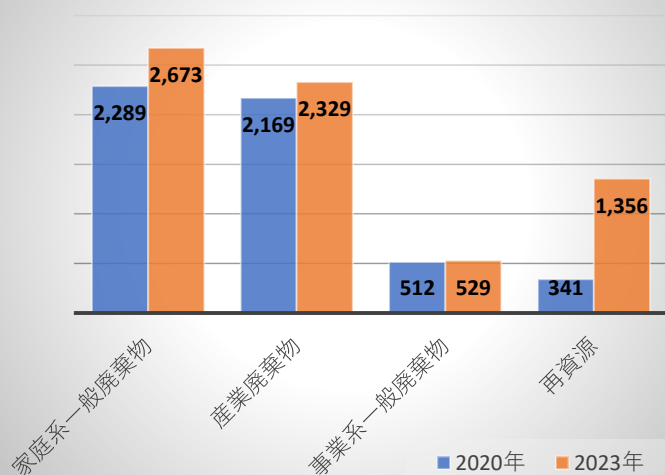
収集運搬量1 t あたりの燃料 〈ℓ/t〉



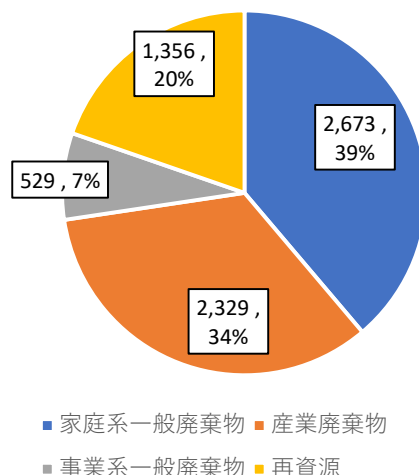
今年度、収集運搬量1 t あたりの燃料は99.7 ℓ/tでした。月平均は8.3 ℓ/tでした。

目標値は9.4 ℓ/tで11.6%削減出来ました。廃棄物が増えると比例して収集運搬の回数が増える傾向があります。運搬回数が増えると、その分軽油使用量・ガソリン使用量が増えます。廃棄物の分別を徹底し、効率良く運搬をすることや市からの委託の家庭系一般廃棄物の収集運搬では回るルートによって距離は変わるので交通状況等の確認、ルートの確認及び見直しをおこない、軽油使用量・ガソリン使用量の削減に努めていきます。また再資源物は2020年では途中から実績確認をしたため、正確な収集運搬量ではありませんが、2023年度では全体の20%の割合でした。来年度は+2%の割合を目指して取り組んでいきます。

廃棄物別の年間収集運搬量 〈t〉



2023年度 廃棄物別の割合 〈%〉



(9) 本来業務の取組

本来業務の取組内容

- ・リサイクル率の向上
- ・環境活動



事業系排出者への分別指導推進

事業系ごみ〈事業系廃棄物〉分け方／分別表	
生ごみ - 食品の食べ残し - 食品の売れ残り - 調理くず等 ※プラスチックの容器、異物は産業廃棄物です。 ※食品製造業者等の業種から発生する動物性残さ（わから、雞さかす等）は産業廃棄物です。 ※食品製造業者等は、食品リサイクル法に基づき減量・リサイクルに取り組む必要があります。	※水回りの掃除、生ごみ処理機の使用等を行い減量に努めましょう。
紙くず リサイクルできる紙 - 汚れや臭いのついた紙、水に濡れた紙、油のついた紙 - 使用済みのファクシミリペーパー - 金属が露出した紙 - 防水加工された紙 - インクジェット等貴用プリント用紙等 ※建設業、紙・紙加工品製造業、印刷出版業等の業種から発生する紙くずは産業廃棄物です。	
繊維くず - 天然繊維・毛布、木綿布、絹 - 作業服 - 天然皮革・かばん、ブーツ等 ※建設業、繊維工業等の業種から発生する繊維くずは産業廃棄物です。	
草木類 木くず 刈草や木くず（長さ50cm、太さ10cmまでなど、リサイクルに適さないもの） ※建設業、木材製造業、木製品製造業等の業種から発生する木くずは産業廃棄物です。また木製/リットはすべて産業廃棄物です。（右ページ参照）	
剪定枝 - 剪定枝（長さ100cm、太さ15cmまで） - 剪定枝（長さ100cm、太さ15cm以上）、木製品	
資源物 汚れていない缶・びん ペットボトル - 飲食用アルミ・スチール缶 - 飲食用びん - 飲食用ペットボトル	資源回収施設へ自己搬入または資源回収業者に委託
古紙 - 新聞（折込広告含む） - 段ボール（紙管・紙テープ、宅配用等はがす） - 紙パック（マックのもの） - 雑誌・週刊誌、漫画本、単行本、新聞紙、教科書、辞書、カタログ、パンフレット - オフィス紙、シュレッダーくず - その他の紙、包材紙、菓子やティッシュの空箱、メモ用紙、ハガキ、紙袋、名刺、封筒（私物がある場合は取り除く）	
古布 不要になった衣類・布類等 ※以下のものは異物として扱われます。 綿、毛、毛布等でできたもの（パジャマ、カーペット、足拭マット、壁紙カバー、雑巾、スリッパ/ペット用に使った毛布、タオル等/コタツの下敷き、電気毛布/ビニール合羽・雨傘/会社の制服、作業服/仕立てくず・縫製くず等）	
リサイクル家電 - テレビ（ブラウン管・液晶・プラズマ） - 冷蔵庫、冷凍庫 - エアコン - 洗濯機、衣類乾燥機	小売店または指定回収場所

節電・節水の掲示



蛇口ストッパー



事務所内ゴミの分別の徹底



塵芥車へのラベルの貼り付け

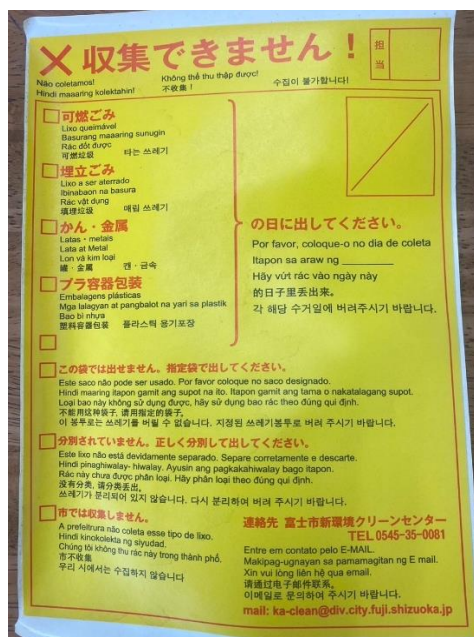


塵芥車にエコアクションマーク

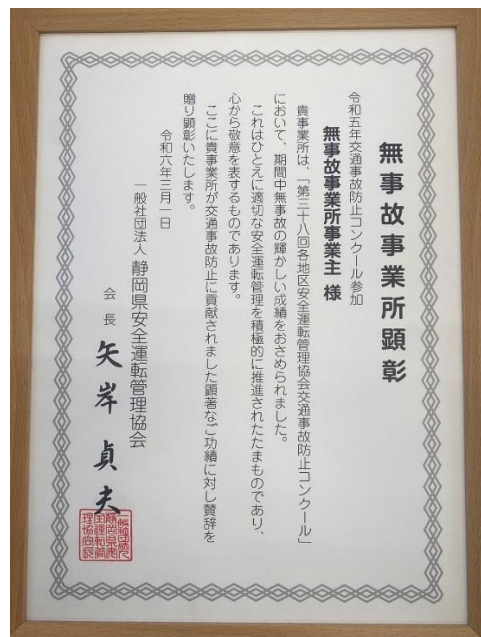


(9) 本来業務の取組

富士市違反ゴミ用ラベルシール



無事故事業所



ボランティア活動



ボランティア活動



清掃活動



使用済み切手収集



6. 問題点の是正処置及び予防処置の結果

確認日	2024/6/20(木)	確認者	代表取締役 望月 環境管理責任者 鈴木
目標未達成の項目	・ 電力使用量(本社) ・ 電力使用量(中間処理施設) ・ 軽油量 ・ 灯油量 ・ 水使用量		
目標未達成の内容	・ 電力使用量(本社)の実績削減率が +4.5% ・ 電力使用量(中間処理施設)の実績削減率が +11.5% ・ 軽油の実績削減率が +15.4% ・ 灯油量の実績削減率が +97.6% ・ 水使用量の実績削減率が +13.8%		
目標未達成の発生要因	・ 電力使用量(本社) 常にエアコンが稼働していた。設定温度も今年の夏も暑くて24度くらいで使用する日もあった ・ 電力使用量(中間処理施設) 破砕機の電力だが、基準年度よりも破砕機の稼働時間が長かった ・ 軽油量 車両台数の増加 遠方の回収先の増加 ・ 灯油量 ストーブの稼働時間が増えた ・ 水使用量 車両台数の増加の為、洗車回数も必然と増えた		
目標未達成の改善対策内容 (1)	・ 電力使用量(本社) 節電のポスターで再認識 空調の温度管理の徹底(冷房28度、暖房24度) 不要な照明の消灯 クールビズ、ウォームビズ推奨 ・ 電力使用量(中間処理施設) 不要な照明の消灯 ・ 軽油量 エコドライブの実践 車両の日常点検・定期点検の徹底 効率的なルートで収集するために定期的な見直し 最短ルート、渋滞・工事などの連絡		

問題点の是正処置及び予防処置の結果

目標未達成の 改善対策内容 (2)	・ 灯油量 こまめな消火を行うようにする ・ 水使用量 洗車時もストッパーを利用し、出しっぱなしにならないようにする
改善策実施の スケジュール	・ 電力使用量(本社) 7月末までに節電のポスターの掲示 ・ 電力使用量(中間処理施設) 7月末までに節電のポスターの掲示 ・ 軽油量 7月末までに車両の点検がしっかりされているか確認 ・ 灯油量 使わない時はこまめに消すことの呼びかけ ・ 水使用量 節水の呼びかけ ・ 全従業員への改善策の周知を6月末のミーティングで行う
対策実施に結果確認	・ 電力使用量(本社) 掲示済 ・ 電力使用量(中間処理施設) 掲示済 ・ 軽油量 確認済 ・ 灯油量 ミーティング時に周知済 ・ 水使用量 ミーティング時に周知済 ・ 6/28(金)ミーティング時に目標結果報告を対策周知

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認

及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等も遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用対象	法規・条例・規則	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物処理業者	廃棄物処理及び清掃に関する法律 (静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例)	前年度実績報告書提出	各県へ6/30までに提出	○
		産業廃棄物処理委託先の実地確認	年1回 5年保管	○
		廃棄物排出事業所との委託契約	契約書の締結	○
		マニフェストの管理	送付期限を超えても送付されない場合は30日以内に県知事に報告	○
		B2,D票90日、E票180日以内に送付		
		マニフェストの保管	5年間	○
		特別管理産業廃棄物の帳簿作成	感染性廃棄物 引火性廃油	○
		水銀使用製品(蛍光管)処分委託	(株)ホクセイへ委託	○
		廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
		投棄禁止	不法投棄をおこなわない	○
		産業廃棄物許可の取得更新	5年ごとの講習、更新	○
		変更時の届け出	すみやかに手続きすること	○
		一般廃棄物処理業許可	2年ごと更新	○
	家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫等	○
事業全般	PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニター等	○
	貨物自動車運送事業 運送安全規則	乗車前後のアルコール検知器の使用義務	アルコール検知器 の設置	○
	フロン排出抑制法	エアコンの点検	3か月に1回	○
	道路交通法	安全運転の義務	歩行者、対向車に対しての危険予知訓練、指導等	○
		車両等の使用者の義務		○
	労働安全衛生法	フォークリフト・破砕機等の点検、メンテナンス	日常・定期点検	○
	地球温暖化対策推進法	温室ガス抑制措置	自治体施策への協力	○
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	有用な物の循環利用を推進	○
	消防法	消防用設備等の点検と報告	塵芥車の消火器設置等	○
	下水道法	公共下水道における排水施設の設置等		○

(2) 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21を取り組み始めて12年経ちました。更新審査も無事に済み、従業員一同環境問題への意識が高まっていると感じられる今日この頃です。

弊社の所在地の静岡県富士市が“SDGs未来都市”に選定されたこともあり、岳陽産業有限会社も持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。今まで以上に私たちに何が出来るのか考えるようになりました。

- 11.住み続けられるまちづくりを
- 12.つくる責任 使う責任
- 13.気候変動に具体的な対策を
- 14.海の豊かさを守ろう
- 15.陸の豊かさを守ろう

世界ではプラスチックゴミの海洋汚染、地球温暖化などが問題視されています。

私たちは微力ながらもゴミの分別を徹底し、リサイクル出来るものを増やし、焼却物を減らすことが重要だと思っております。取引先への分別の指導や方法もより明確にしていきたいと思っております。

リサイクル率に関しては、スチール缶・ペットボトルは昨年同様リサイクル率100%達成してます。本社内ではコピー用紙両面使用・封筒再利用等は日々意識して無駄なく再利用できています。

今年度も市内の幼稚園にて「リサイクル講座」をおこないました。

集められたごみはどうなるのか、リサイクルされるものは一体何に生まれ変わるのか、子どもたちの純粋で真っ直ぐな質問に対して、私自身は教える立場ですが改めてリサイクルについて考えることができ、とても貴重な体験をさせて頂きました。このような講座は今後も積極的に続けていきたいと思っております。

以上の活動により、環境破壊を食い止め、自然を守り、次世代への架け橋となっていくことを引き続き目標とし、環境経営方針実現のためPDCAサイクルを活用し、従業員一同、努力していく所存であります。

2024年7月31日

岳陽産業有限会社
代表取締役 望月 茂

